

夢はぐくむ教育の推進

— 学校教育の指針 —

教育は「人づくり」

基礎・基本、考える力を身に付ける

夢をはぐくみ生き方を考える

目標に向かって努力する

青森県教育委員会

夢はぐくむ教育の推進

国際化、高度技術化など変化の著しい社会の中で、子どもたちが、自ら考え、行動し、未来を切り拓く力を身に付けることが求められています。一方、このような急激な変化や物質的な豊かさの中で、既存の価値観が揺らぎ、子どもたちが夢や希望を持ってなくなり、学習意欲や規範意識の低下が危惧されています。

このような状況の中で、本県の将来、日本の将来を担う人間を育てるためには、「教育は人づくり」という原点に立ち、21世紀を主体的にたくましく生き抜く子どもたちの育成を目指す必要があります。

この「夢はぐくむ教育の推進」は、学校教育の在り方について改めて共通理解を図るために、今最も求められる子どもたちの向上心や学ぶ意欲、その源となる夢や希望をはぐくむことを基本とした方向を示したものです。

「学」・「心」・「体」の充実のうえに

- (1) 基礎・基本、考える力を身に付ける
- (2) 夢をはぐくみ生き方を考える
- (3) 目標に向かって努力する

を重点的に進めます。

(1) 基礎・基本、考える力を身に付ける

- ① 学ぶ姿勢や態度など基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の工夫・充実
- ② 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるためのきめ細かな指導の充実
- ③ 聞く・読む・書く・話す、考える力を育成するための指導の充実
- ④ 自ら考え、判断し、行動する力を育成するための指導の充実
- ⑤ 子どもたちの学習における学校、家庭、地域の連携の推進



(2) 夢をはぐくみ生き方を考える

- ① 夢をはぐくみ、生き方について考えさせる体験活動や交流活動の充実
- ② 子ども一人一人のよさを見だし、可能性に気づかせる教育活動の推進
- ③ 子どもたちの自発的な学習活動につながる学び方指導の充実
- ④ 進路指導(生き方指導)に関する教員相互の連携の推進
- ⑤ 異なる校種(小・中・高・特殊)の連携による系統的な生き方指導の推進



(3) 目標に向かって努力する

- ① 学ぶ意味を考えさせる学習活動の推進
- ② 子どもたちの主体的な進路選択につながる進路ガイダンスの充実
- ③ 子どもたちの生き方について保護者の理解を深める取組みの推進
- ④ 進路指導(生き方指導)に関する学校、家庭、地域の連携の推進



夢はぐくむ教育の推進

「学」・「心」・「体」の充実

(高等学校部)



(中学校部)



(小学校部)



基礎・基本、考える力を身に付ける

夢をはぐくみ生き方を考える

目標に向かって努力する

家庭 地域

制度面の整備

教員の共通理解

「学」・「心」・「体」とは…

「学」自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を身に付ける

「心」他人を思いやる心、感動する心などの「豊かな心」をはぐくむ

「体」確かな学力や豊かな心の基盤となる「健やかな体」をはぐくむ



夢はぐくむ教育を推進するため、制度面の整備を進めます。

① 個に応じた指導の充実

子ども一人一人の個性、能力に応じたきめ細かな指導に対応するため、学級編制の弾力化や少人数指導の充実に関する取組みを進めます。

② 学校評価に関する取組みの推進

学校が保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携していくため、教育活動など学校運営に関する自己評価や学校評議員等による外部評価の在り方について検討を進めます。

③ 教員研修の充実

教員の指導力や実践力の向上を図るため、10年経験者研修の充実や初任者研修の見直しを図るなど、新たな研修の在り方に関する取組みを進めます。

④ 進路選択における各種支援制度の充実

夢をはぐくみ、それに向かって意欲的に学ぶ子どもたちを支援するため、将来の生き方に関する様々な情報の提供や相談体制を整備するとともに、経済的な支援につながる奨学制度の充実や活用に向けた普及・啓発に努めます。

⑤ 高校教育改革の推進

高度化、多様化する教育ニーズに応えるため、高等学校における特色ある学科の設置や入試制度の改善に関する取組みを進めます。



夢はぐくむ教育を推進するためには教員の共通理解が大切です。

① 子どもたちへの信頼と期待

子どもたちは、本来、一人一人がそれぞれのよさや可能性を持っており、夢や希望を実現する力を持っています。子どもたちの向上心や志を喚起し、自己実現に結びつけるためには、教員と子どもたちの相互の信頼関係が必要であり、そのためには、まず、教員が子どもたちの夢や希望に共感し、信頼感や期待感を持って接することが大切です。

② 教育活動全体を通じた指導

子どもたちの多様な個性を生かし、夢や希望の実現を支援するためには、各教科、道徳、特別活動など教育活動全体による生き方指導が大切であるとともに、教員が互いに連携し、子どもたちの持つ可能性を多面的に捉えることが必要です。また、子どもたちに自らの生き方を考えさせるためには、進路指導という限られた枠の中だけでなく、生徒指導という観点から、日々の教育活動における支援が大切です。

③ 指導力の向上

日々の教育活動の中で、子どもたちの自己実現を支援するためには、教員が学習指導や進路指導における指導力や実践力を向上させる必要があります。このため、教員は教科の指導に関わる研修はもちろん、視野を広げるための社会体験などに積極的に取り組むことが大切です。

④ 連携による教育活動

子どもたちが、連続した学びの中で、夢や希望を実現していくためには、教育活動における校種間の連携や家庭との連携、地域との連携が大切です。また、各校種間における入学前後の連携だけではなく、教員同士が子どもたちの学びや夢の実現に対して、共通認識を持ちながら教育活動を進めていくことや家庭や地域の協力を得ながら、子どもたちの生き方を支援することも大切です。

「夢はぐくむ教育の推進—学校教育の指針—」

発行 平成15年3月

発行者 青森県教育委員会 教育政策課

〒030-8540 青森市新町2丁目3の1 Tel 017-734-9867 Fax 017-734-8267

青森県教育委員会ホームページ <http://www.pref.aomori.jp/education/>